

府中市における保養事業の見直し事例

1 市民保養所「伊豆荘」の設置の経緯

昭和40年代初期に、生活に潤いと豊かさを求めて、戸外のレクリエーションが年々盛んになる中、本市において市民保養所の設置を検討し始めた。複数の候補地から、地理的条件や交通の便を考え合わせ、静岡県の伊豆半島にある河津町内の土地を適地と決定した。

市民保養所「伊豆荘」 昭和44年7月19日オープン

- ・階数 地上4階
- ・構造 鉄筋コンクリート造
- ・延床面積 約1,300㎡
- ・新築工事費 約9,400万円
- ・敷地面積 約5,200㎡

案内図



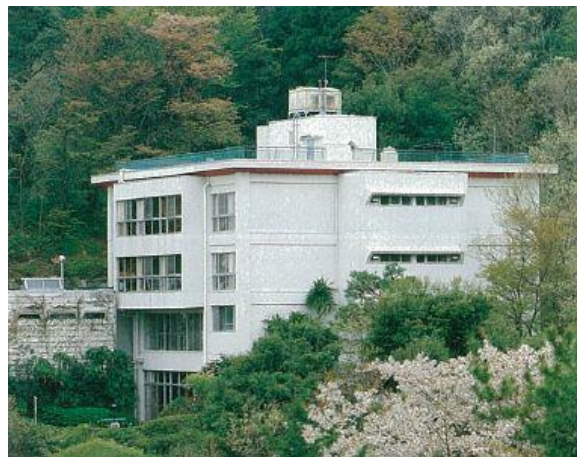
外観



府中からの所要時間（当時）

車で……約4時間

電車で…約3時間20分



2 市民保養所「伊豆荘」の見直し

伊豆荘の利用者数は、設置当初から昭和50年度まで順調に増加し、最大で1.6万人を超えるまでにいたった。しかし、昭和51年度以降については、南伊豆集中豪雨や伊豆半島地震などの自然災害の影響で利用者が減少し、平成に入ってから、平成4年度の約1.2万人をピークに年々利用者は減少し、平成12年度には約8,000人となった。

このような状況の中、平成13年度に設置された府中市保養所伊豆荘検討協議会では、

- ・施設及び附帯設備の老朽化（エレベーターの未設置、玄関までの急勾配等）
- ・自然災害への対応（地震が起きた際に、帰路の確保が困難）
- ・利用人員の減少と運営経費の増加（一人当たり経費の86%が市負担（平成12年度））

などを課題として捉えた上で、伊豆荘が利用者のニーズに合わないものとなっていると判断し、今後は利用補助券発行方式による保養機会の提供を図ることがより良い施策であると結論を出した。

この検討協議会からの報告を踏まえ、伊豆荘については、平成15年3月31日をもって廃止することとした。

3 「伊豆荘」廃止後の取組

廃止後の伊豆荘の処分については、施設を解体しないまま購入を希望する者があったため、入札を実施し、約1,500万円で売却した。

また、伊豆荘の廃止に合わせて、平成15年4月1日から市が指定する旅行取扱業者が協定したホテル、旅館等の宿泊費の一部を助成する事業「府中市民 ゆったりリゾート ころの旅」を開始した。その後、この保養施設の利用助成事業については、平成24年度に実施した事務事業点検で不要の判断を受けたことを踏まえ、平成25年9月30日をもって廃止している。